

薬剤師ではなく鍼灸師の道へ

高校生のころ漢方薬を処方してもらっていた経験から、最初は薬剤師をめざしました。でも、人を治療するのに患者さんに触れることができないのはもどかしい。そう考えていた時、鍼と出会ったのです。大学を出てから、この森ノ宮医療学園専門学校に入学したのですが、医薬による間接的なものではなく、直接的に治療するすばらしさを痛感しましたね。

卒業後は整形外科に勤務し、前校長の米山義先生にご指導いただきながら、やがて私も担当医として鍼を打つようになり、3年半のちに現在の診療所を開業したのです。

楽しい、このシンプルな実感

子供のころから医療に従事したいと考えていた私にとって、診療所を持つことができたのはうれしい。自分の手で治療した患者さんの容態が着実に良くなっていく、喜んでくれる。この単純な事実を毎日体験できることが楽しいんです。

告白すれば学生のころ、先生がおっしゃる鍼の効果について、それは過大評価ではないかなどと多少の疑念を持っていました。しかし、本当でした。20～30歳代のOLからお年寄り、子供さんまでさまざまな患者さんが来院されますが、幅広い症状に対してじつによく効きます。治療が長期にわたる場合、せっかちな患者さんは途中でやめてしまう。そんな時は、もっと詳しく説明するべきだったと反省します。あともう少しで治せたのにとすると残念でなりません。

知識と技術があつてこそ

いま鍼を学んでいる方には、ぜひ実技を大切にしてほしいと思います。私は実習でいろんな先生のモデルになりましたし、当学園の附属診療所鍼灸室室長をされている佐藤先生のところにもよく見学に行きました。知識だけでは当然ながら患者さんの要求に応えることはできないのです。

私が理事を務めさせていただいている日本臨床鍼灸懇話会では、定例研究会や年1回の全国集会で実技を公開しています。参加した学生さんは、いろんな先生の技術を見ることができてよかったとおっしゃいます。ぜひ気軽に来てほしいですね。



鍼灸学科 第15期 昼間部

奥本憲司先生

森ノ宮医療学園専門学校(昼間部)平成元年卒
日本臨床鍼灸懇話会理事・(社)大阪府鍼灸師会理事

第2回交流会のお知らせ

校友会総務：清水尚道

本年度も、校友会員の皆様の親睦を深めるために「森ノ宮医療学園専門学校校友会交流会」を開催いたします。昨年は約50名の会員の方々にご出席いただき、楽しい時間を過ごすことができました。ぜひ、同窓

会を兼ねて、お集まりいただけたらと考えております。日時は昨年同様、平成16年11月3日の午後5時30分から7時、場所は大阪で学校周辺、会費は1,000円で予定しております。次号の会報にて、詳細および出欠についてのご案内をいたしますので、よろしく願いいたします。

Information